



# Heart News ハートニュース

企画・発行  
財団法人  
日本心臓財団

不整脈の非薬物治療～カテーテルアブレーションとは？～

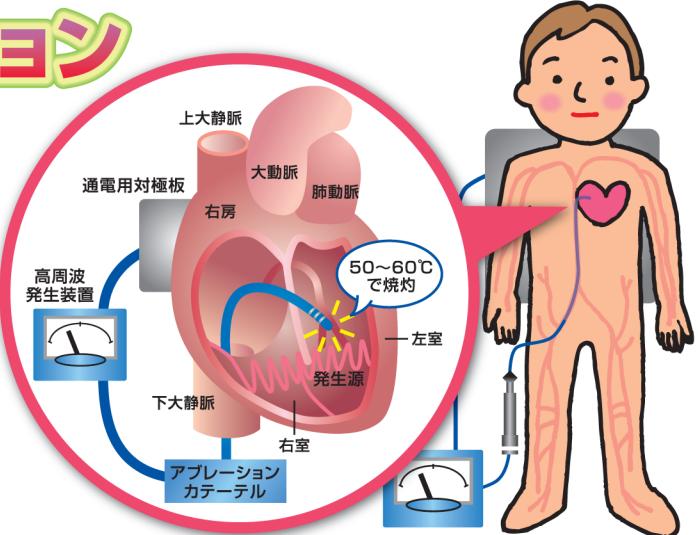
監修 内藤 滋人 群馬県立心臓血管センター 循環器内科第二部長

## カテーテルアブレーション (心筋焼灼術)とは

心臓は刺激伝導系の働きにより、規則正しく収縮と弛緩を繰り返しています。この刺激伝導系やそれによって収縮を繰り返す心筋に異常が起り、心臓の拍動リズムが乱れた状態を不整脈といいます。不整脈は、脈が遅くなる徐脈性不整脈、脈が速くなる頻脈性不整脈、脈が飛んだり抜けたりする期外収縮に大別されます。期外収縮など、症状がひどくなれば治療の必要がない場合も多くありますが、突然死や脳梗塞の原因となる危険な不整脈は適切な治療が必要です。薬を使わない治療法として近年、成果をあげているのがカテーテルアブレーションです。

主な不整脈の種類と治療法		
不整脈の種類	脈拍	治療
徐脈性	脈が遅い	心臓ベースメーカー
頻脈性	規則正しい	抗不整脈薬 カテーテルアブレーション
	持続性心室頻拍	植え込み型除細動器
	心房細動	脈が乱れる
心室細動	脈がない	抗不整脈薬 カテーテルアブレーション
期外収縮	脈が飛ぶ・脈が抜ける	植え込み型除細動器 抗不整脈薬 (カテーテルアブレーション)

不整脈は種類が多く、名前も複雑です。  
自分はどの不整脈か主治医の先生に書いてもらいましょう。



カテーテルアブレーションは、足の付け根の静脈からカテーテル(細い管)を心臓内部に到達させ、不整脈の原因となっている異常部位を、カテーテルの先端から流した高周波電流で焼灼する治療法です。治療に要する時間も短く、体への負担が小さいのが特徴です。カテーテルアブレーションは頻脈性不整脈を根治できる可能性があり、発作性上室性頻拍や心房粗動の第一選択の治療法です。飲み薬が効きにくく、症状が強い期外収縮や、最近は心房細動にも適応が広がっています。

### 薬物治療とカテーテルアブレーションの比較

薬物治療が症状や発作を抑える治療などに対し、カテーテルアブレーションは不整脈の原因を除去して完治させる治療です。入院期間も4日程度と短く、早期に社会復帰が可能です。薬剤が効きにくい場合など、薬物治療を何年も続けることを考えれば、生涯医療費はカテーテルアブレーションのほうが少なくなる可能性があり、成功すれば抗不整脈薬も不要になるため、精神的負担も軽減されます。

カテーテルアブレーションでは、血管等を傷つける事故や血栓症などの合併症が起こることがあります。医師からよく説明を受け、十分納得したうえで、手術を受けることが大切です。

	薬物治療	カテーテルアブレーション
治療の性質	抑制治療	根治治療
入院の必要	なし／あり	あり(3日～7日)
外来通院	長期	術後短期間のみ
生涯医療費	大	小
精神的負担	長期間持続	術後は軽減

### WPW症候群などでは成功率90%以上!!

- WPW症候群
- 房室結節回帰頻拍
- 心室頻拍(特発性)
- 心房粗動(通常型)

カテーテルアブレーションの最も効果的な不整脈の一つに、ウォルフ・パーキンソン・ホワイト(WPW)症候群に伴う発作性上室性頻拍(PSVT)があります。これは、先天的に余計な伝導路(副伝導路)を持っている人に起こるもので、電気的興奮が正常な伝導路と副伝導路の間にグルグル旋回(リエントリー)してしまい、激しい動悸が起こるものです。カテーテルアブレーションにより副伝導路を絶つことで、根治が可能です。そのほか、房室結節回帰頻拍や心房粗動※などの上室性の不整脈、他の心疾患がない場合の心室頻拍などでも、90%以上の高い成功率をあげています。

※通常型の場合。非通常型は難済例も多い。

### 心房細動の根治治療としても期待

心房細動は、心房が細かく震えた状態になる不整脈で、脈がバラバラに乱れ、ときには1分間に100回以上の頻脈になります。高齢者や他の心疾患のある人では、心房細動から心不全を起こす危険があるほか、心房内にできた血栓により脳梗塞を発症する可能性があり、治療が必要です。近年、心房細動の原因の一つが肺静脈にあることが分かり、カテーテルアブレーションによって肺静脈と心房の結合部を隔離する拡大肺静脈隔離術が行われるようになりました。成功率も向上しており、若年で左房拡大がなく、飲み薬が効きにくいタイプの心房細動では、60～80%の成功率が期待されています<sup>\*</sup>。※高齢者で症状のない持続性心房細動症例は適応となりません。

